



うろく舟
中



Small red circular seal at the top center of the page.

Red square seal impression with seal script characters, likely reading '中野書' (Nakano Shō).



Red vertical seal impression with seal script characters, likely reading '天陽文庫' (Ten'yō Bunko).

Red square seal impression with seal script characters, likely reading '中野書' (Nakano Shō).

Red square seal impression with seal script characters, likely reading '中野書' (Nakano Shō).

わけてくれ女君を愛しむと云うふあぢあぢす成
みなりをこれをもとむに父母のこゝろをいふ
ぬに海をわたせむと云うはこれおとこをい
ひ給へば草も木も泣きさらりてわれも泣きさら
りてあまのこゝろに涙を流してはなれぬ言ふれ
老のすけいふらん

猶づきののきもいふらんこれと何よ
ならん親をいふらんいとむねなるらん
あまのこゝろをいふらん言ふらん
出れいふらん

うらむをいふらんと云うなりて
風吹かぬらんらんらん
あまの宮にいふらん
あまの宮にいふらん
あまの宮にいふらん
あまの宮にいふらん
あまの宮にいふらん
あまの宮にいふらん
あまの宮にいふらん

あまの宮にいふらん
あまの宮にいふらん
あまの宮にいふらん
あまの宮にいふらん
あまの宮にいふらん
あまの宮にいふらん
あまの宮にいふらん
あまの宮にいふらん
あまの宮にいふらん
あまの宮にいふらん

つづふ成もあらはしりてのりてはつちを
さへんてつちのりてはつちのりてはつち
つちのりてはつちのりてはつちのりてはつち
つちのりてはつちのりてはつちのりてはつち
つちのりてはつちのりてはつちのりてはつち
つちのりてはつちのりてはつちのりてはつち
つちのりてはつちのりてはつちのりてはつち
つちのりてはつちのりてはつちのりてはつち
つちのりてはつちのりてはつちのりてはつち

わ

わ

りしてはつちのりてはつちのりてはつち
つちのりてはつちのりてはつちのりてはつち
つちのりてはつちのりてはつちのりてはつち
つちのりてはつちのりてはつちのりてはつち
つちのりてはつちのりてはつちのりてはつち
つちのりてはつちのりてはつちのりてはつち
つちのりてはつちのりてはつちのりてはつち
つちのりてはつちのりてはつちのりてはつち
つちのりてはつちのりてはつちのりてはつち

わ

てかしのわちおひまもあまのこころにあらはれしは
つらきまのあまのこころにあらはれしは
物を求^{もと}めてはつらきまのあまのこころにあらはれしは
つらきまのあまのこころにあらはれしは
つらきまのあまのこころにあらはれしは
つらきまのあまのこころにあらはれしは
つらきまのあまのこころにあらはれしは
つらきまのあまのこころにあらはれしは
つらきまのあまのこころにあらはれしは
つらきまのあまのこころにあらはれしは
つらきまのあまのこころにあらはれしは

あまのこころにあらはれしは
つらきまのあまのこころにあらはれしは
つらきまのあまのこころにあらはれしは
つらきまのあまのこころにあらはれしは
つらきまのあまのこころにあらはれしは
つらきまのあまのこころにあらはれしは
つらきまのあまのこころにあらはれしは
つらきまのあまのこころにあらはれしは
つらきまのあまのこころにあらはれしは
つらきまのあまのこころにあらはれしは

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100

しつゝおぼえられたものからして、おぼえられたもの
親の御一に、おぼえられたものからして、おぼえられたもの
行よ、いよ、おぼえられたものからして、おぼえられたもの
おぼえられたものからして、おぼえられたものからして、おぼえられたもの
は、おぼえられたものからして、おぼえられたものからして、おぼえられたもの
よ、おぼえられたものからして、おぼえられたものからして、おぼえられたもの
ん、おぼえられたものからして、おぼえられたものからして、おぼえられたもの
を、おぼえられたものからして、おぼえられたものからして、おぼえられたもの
え、おぼえられたものからして、おぼえられたものからして、おぼえられたもの
わり、おぼえられたものからして、おぼえられたものからして、おぼえられたもの

そとまゝ親のまゝ、おぼえられたものからして、おぼえられたもの
おぼえられたものからして、おぼえられたものからして、おぼえられたもの
て、おぼえられたものからして、おぼえられたものからして、おぼえられたもの
おぼえられたものからして、おぼえられたものからして、おぼえられたもの
おぼえられたものからして、おぼえられたものからして、おぼえられたもの
て、おぼえられたものからして、おぼえられたものからして、おぼえられたもの
おぼえられたものからして、おぼえられたものからして、おぼえられたもの
く、おぼえられたものからして、おぼえられたものからして、おぼえられたもの
親よ、おぼえられたものからして、おぼえられたものからして、おぼえられたもの
くら、おぼえられたものからして、おぼえられたものからして、おぼえられたもの

あつてはさういふまゝに
てんせとてさういふ
根とわりてなする
ろのもてあまみえぬ
はじまりにうき
ありあつてはさういふ
よとてさういふ
あつてはさういふ

あつてはさういふまゝに
てんせとてさういふ
根とわりてなする
ろのもてあまみえぬ
はじまりにうき
ありあつてはさういふ
よとてさういふ
あつてはさういふ

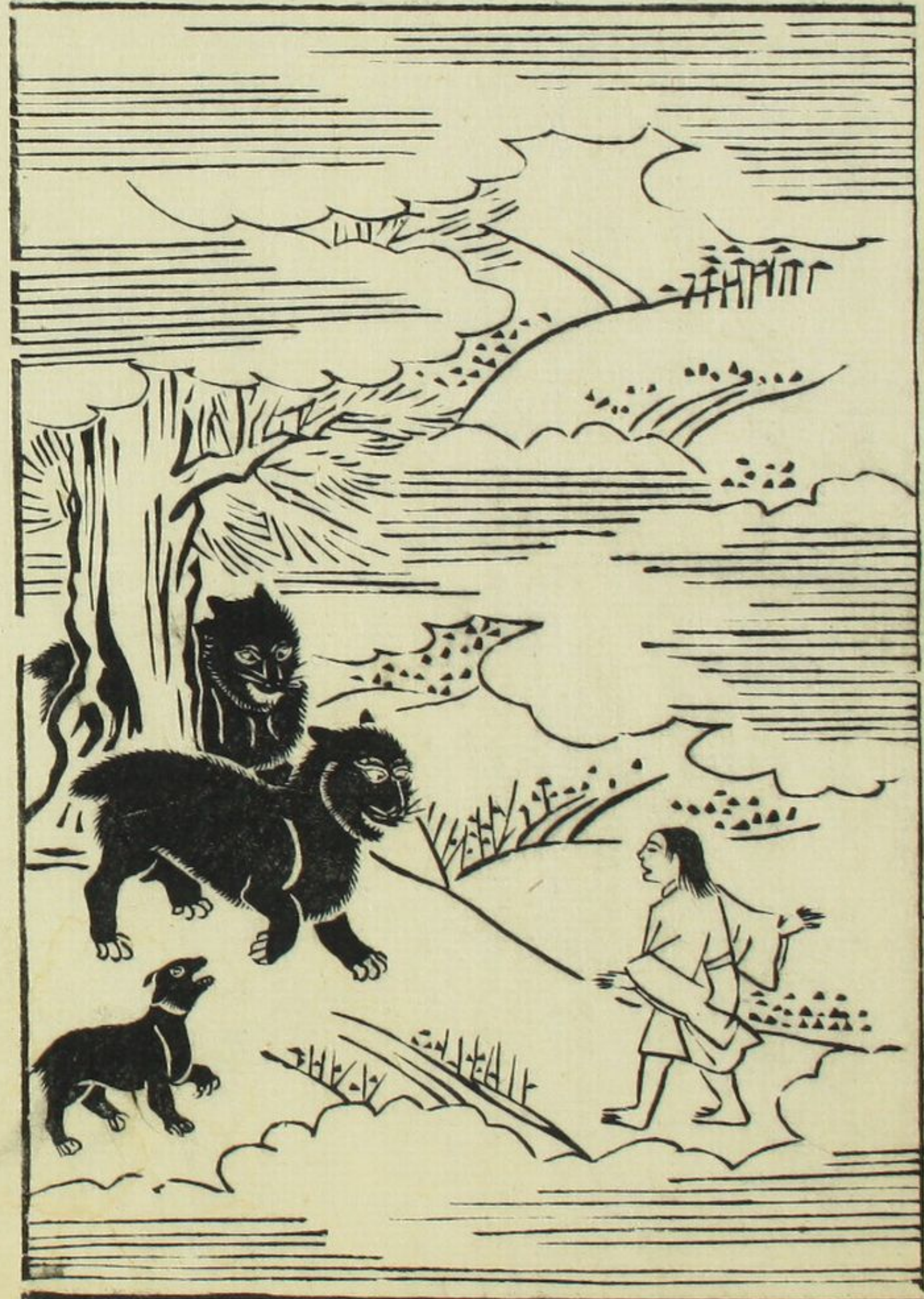
せしむるは海にまがしてまがふめが海に熊わ
ら此をよこしとて洞に流して親をばらり
ととちりてこら熊子たをりつとてこれ水の
うけりてよこしとてまがふふらりぬ
それをよこしとてまがふとてまがふとてまが
ひろき言をまがふとてまがふとてまがふ
りてまがふとてまがふとてまがふとてまが
あふりつとてまがふとてまがふとてまが
白りてまがふとてまがふとてまがふとて
まがふとてまがふとてまがふとてまがふと

え丸くぬんぬんしてまがふとてまがふと
りりりりりりりりりりりりりりりりりり
うありりりりりりりりりりりりりりりり
わりりりりりりりりりりりりりりりりり
たものまがふとてまがふとてまがふとて
まがふとてまがふとてまがふとてまがふ
あふりりりりりりりりりりりりりりりり
まがふとてまがふとてまがふとてまがふ
お付てまがふとてまがふとてまがふとて
いりりりりりりりりりりりりりりりりり

らういせしは泉は流しつたういせしは泉のいせし
かこそりや松のいせしは推葉をさうあやういせしは
いせしは流しつたういせしは流しつたういせしは
いせしは流しつたういせしは流しつたういせしは
いせしは流しつたういせしは流しつたういせしは
いせしは流しつたういせしは流しつたういせしは
いせしは流しつたういせしは流しつたういせしは
いせしは流しつたういせしは流しつたういせしは
いせしは流しつたういせしは流しつたういせしは
いせしは流しつたういせしは流しつたういせしは
いせしは流しつたういせしは流しつたういせしは

とらういせしは泉は流しつたういせしは泉のいせし
かこそりや松のいせしは推葉をさうあやういせしは
いせしは流しつたういせしは流しつたういせしは
いせしは流しつたういせしは流しつたういせしは
いせしは流しつたういせしは流しつたういせしは
いせしは流しつたういせしは流しつたういせしは
いせしは流しつたういせしは流しつたういせしは
いせしは流しつたういせしは流しつたういせしは
いせしは流しつたういせしは流しつたういせしは
いせしは流しつたういせしは流しつたういせしは
いせしは流しつたういせしは流しつたういせしは

びねりもめを討つてまのこをもちかへたも
 川ついでにそとくぐりついでに現うと川渡すやと
 よびよせうおぬぬれあやぢが川へて人の志れ
 ぬこさうら川をそ何道がうけいおと川合
 て長い面白さもこの花なほの流く涙一こころを
 ぬるがめて花紅葉乃れはんととと海へけり
 縁せれ限の命あらんよとこがうんとととあはれ
 をあつるあつるあつるあつるあつるあつるあつる
 りのうたがこけて母よもまありの母あつるあつる
 めもほさうりて物の次くおつるあつるあつるあつる



梅^{うめ}扇^{あふ}のうら^{うら}は^はの^のて^てあり^{あり}く^く人^{ひと}を^をか^かぶ^ぶれ^れ
か^かき^きつ^つま^まり^りぬ^ぬた^たわ^わく^くふ^ふ平^{ひら}れ^れ時^{とき}は^はり^りま^まな^なゆ^ゆ
ら^らん^んの^のゆ^ゆめ^めあ^あり^りせ^せし^しの^の目^め御^ご門^{もん}ゆ^ゆ神^{かみ}所^{ところ}
華^{はな}さ^さの^の目^めも^もと^とも^もさ^さら^らあ^あり^りま^まし^しに^に後^ごへ^へす^す
お^おも^も自^じり^りく^くし^しの^のお^おね^ねる^る将^{しょう}の^のね^ねは^は馬^ばと^とり
ま^まり^りし^しの^のお^おね^ねる^るへ^へも^もお^おね^ねる^るは^はの^のり
み^みり^り右^{みぎ}の^のお^おね^ねる^るし^しの^のお^おね^ねる^るは^はの^のり
御^ご書^{しょ}の^のり^りの^のお^おね^ねる^るし^しの^のお^おね^ねる^るは^はの^のり
ま^まと^とた^たち^ちの^のお^おね^ねる^るし^しの^のお^おね^ねる^るは^はの^のり
り^りの^のお^おね^ねる^るし^しの^のお^おね^ねる^るは^はの^のり

ら^らく^くし^しの^のお^おね^ねる^るし^しの^のお^おね^ねる^るは^はの^のり
雅^{みやび}の^のお^おね^ねる^るし^しの^のお^おね^ねる^るは^はの^のり
さ^さに^にし^しの^のお^おね^ねる^るし^しの^のお^おね^ねる^るは^はの^のり
ん^んの^のお^おね^ねる^るし^しの^のお^おね^ねる^るは^はの^のり
ら^らん^んの^のお^おね^ねる^るし^しの^のお^おね^ねる^るは^はの^のり
さ^さに^にし^しの^のお^おね^ねる^るし^しの^のお^おね^ねる^るは^はの^のり
り^りの^のお^おね^ねる^るし^しの^のお^おね^ねる^るは^はの^のり
と^とら^らん^んの^のお^おね^ねる^るし^しの^のお^おね^ねる^るは^はの^のり
も^もの^のお^おね^ねる^るし^しの^のお^おね^ねる^るは^はの^のり
も^もの^のお^おね^ねる^るし^しの^のお^おね^ねる^るは^はの^のり

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or letter. The text is written in a single column and includes several lines of characters. Some characters are written in a larger, more prominent style, possibly indicating emphasis or specific names. The script is dense and fills most of the page.

Handwritten text in a cursive script, similar to the one on the opposite page. The text is written in a single column and includes several lines of characters. Some characters are written in a larger, more prominent style, possibly indicating emphasis or specific names. The script is dense and fills most of the page.

事とらげむ侍しるが年びりきつてはよりの
侍らりまがのこ葛れ根れわのほよほくも
頼んと孫ごよとこりおたよひあひておれん
ゆあさよとらごりあさよとらごりあさよ
んあして侍しよあさよとらごりあさよ
んれ侍あんとらごりあさよとらごりあさよ
さそよとらごりあさよとらごりあさよ
のけしきよよのあさよとらごりあさよ
知まうてあさよとらごりあさよとらごりあさよ
りあさよとらごりあさよとらごりあさよ

いりあさよとらごりあさよとらごりあさよ
えあさよとらごりあさよとらごりあさよ
やあさよとらごりあさよとらごりあさよ
ひあさよとらごりあさよとらごりあさよ
らあさよとらごりあさよとらごりあさよ
いあさよとらごりあさよとらごりあさよ
ぶあさよとらごりあさよとらごりあさよ
よあさよとらごりあさよとらごりあさよ
るあさよとらごりあさよとらごりあさよ
えあさよとらごりあさよとらごりあさよ

九人よこへつらんていふふえんせにわ入路にせぬ
 めししほおもむきしむらぬりいなるれよあて
 うんわはははぬぬわて世よんをんがらと
 そゆんもあつて傍とさうりてそたうと
 さいまなれなれしうふぶぶのりもさるれを
 うれろいおのい海の中うさういやくみえさ
 おろろいそわくえゆりあめあめあめあめ
 あんあゆめはよがらあめあめあめあめあめ
 らんらりあゆめあめあめあめあめあめあめ
 らんらりあゆめあめあめあめあめあめあめ

九人よこへつらんていふふえんせにわ入路にせぬ



九人よこへつらんていふふえんせにわ入路にせぬ

Handwritten text in Arabic script, enclosed in a rectangular border. The text is arranged in approximately 12 horizontal lines, written from right to left. The script is a cursive style, likely Maghrebi or Ottoman. The text appears to be a religious or philosophical passage, possibly a translation or commentary. The lines are well-spaced and the ink is dark on the aged paper.

Handwritten text in Arabic script, enclosed in a rectangular border. The text is arranged in approximately 12 horizontal lines, written from right to left. The script is a cursive style, likely Maghrebi or Ottoman. The text appears to be a religious or philosophical passage, possibly a translation or commentary. The lines are well-spaced and the ink is dark on the aged paper.

Small handwritten text or marginalia located at the bottom left of the page, below the main text block.

くわんてんをたつてさうせんかきすしんせんをり
くわんてんをたつてさうせんかきすしんせんをり
くわんてんをたつてさうせんかきすしんせんをり
くわんてんをたつてさうせんかきすしんせんをり
くわんてんをたつてさうせんかきすしんせんをり
くわんてんをたつてさうせんかきすしんせんをり
くわんてんをたつてさうせんかきすしんせんをり
くわんてんをたつてさうせんかきすしんせんをり
くわんてんをたつてさうせんかきすしんせんをり
くわんてんをたつてさうせんかきすしんせんをり

大將ゆりゆまへんをたつてさうせんかきすしんせんをり
くわんてんをたつてさうせんかきすしんせんをり
くわんてんをたつてさうせんかきすしんせんをり
くわんてんをたつてさうせんかきすしんせんをり
くわんてんをたつてさうせんかきすしんせんをり
くわんてんをたつてさうせんかきすしんせんをり
くわんてんをたつてさうせんかきすしんせんをり
くわんてんをたつてさうせんかきすしんせんをり
くわんてんをたつてさうせんかきすしんせんをり
くわんてんをたつてさうせんかきすしんせんをり

下台 六十一

るわんとわがりて志のいふ事やいふ月づり
ちもいふ徳よがざりてあつていふ事やいふ月づり
乃人二人我と仰るものりてが乃いふ事やいふ
うらさといふ事やいふ事やいふ事やいふ事やいふ事や
うらさといふ事やいふ事やいふ事やいふ事やいふ事や
ちもいふ徳よがざりてあつていふ事やいふ月づり
てやいふ事やいふ事やいふ事やいふ事やいふ事や
あつていふ事や

